

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 放課後growのおと 谷町教室 | | 公表日 | | R8年3月3日 | |
|---------|-----------------|--|-----|---------|---|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 9 | 0 | ・療育スペースは広く、物の配置等安全面に配慮している ・小集団がどうや宿題に集中できるように仕切る工夫をしている | 引き続き、維持してまいります。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 9 | 0 | 通常の職員配置基準よりも多く職員を配置している | 引き続き、維持してまいります。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 9 | 0 | ・マットの色を変え視覚的に構造化している（+転倒時の怪我防止） ・静と動の空間を色で視覚的に分けている ・ルールや送迎時間など可視化しわかりやすく表示している | 引き続き、維持してまいります。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | 1 | ・日々事業所内の清掃、消毒等衛生管理を心掛けている ・活動に合わせた空間になっているが、清潔ではない箇所もあると感じる。スタッフの意識改善が必要。 | 基本的な清掃、消毒だけでなく、日常的に使用するもの（掃除機やエアコン、衛生用品など）の定期的な確認、掃除を継続して参ります。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 9 | 0 | ・個別対応が必要な時に使用 ・宿題や気持ちの整理のために使用 | 子どもの状態や事業所全体の流れを見ながら個室を適宜使用して参ります。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 9 | 0 | ・日々療育の振り返りを実施している ・雇用形態に関わらずミーティングに参加できる | 以後も継続してまいります。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | イベントなどの際アンケートを実施して希望等お聞きする機会を授け業務改善につなげている | 以後も継続してまいります。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | ・文章で情報共有することで職員間での発信の機会が増えている ・朝礼や場面場面で意見交換を行っている | 以後も継続してまいります。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | 自己評価アンケートを実施 | 現在、第三者による外部評価は実施しておりません |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 9 | 0 | ・職員の研修を定期的実施している ・費用補助がある ・研修の掲示はあるが、まだ参加する機会がない | 以後も様々な研修を通して研鑽を積んでまいります。 |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | 0 | 支援プログラムを紙、データにて配布している | 以後も継続してまいります。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 9 | 0 | ・保護者様と面談してニーズや課題を伺い検討して作成 ・職員を含めモニタリングを実施している ・職員の会議時間が十分に取れている | 以後も継続してまいります。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 0 | ・原案会議を行い、出席できなかった職員にも議事録で共有 ・完発音だけでなく、全てのスタッフがどの状況でも対応できるよう日頃から役割分担している ・職員の会議時間が十分に取れている | 以後も継続してまいります。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | 0 | ・支援計画に沿った支援を実施している ・個別支援計画は常時確認することができる ・職員の会議時間が十分に取れている | 以後も継続してまいります。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 9 | 0 | アセスメントシートを作成している | 内容については引き続きスタッフ間で見直し、検討を続けていきたいと思います。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | 0 | ガイドラインに基づいて作成している。 | 以後も継続してまいります。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | 1 | ・スタッフを固定しないことで様々な視点でのプログラムを行っている。 ・プログラムの立案する中で軸となるポイントについては全体で共有済 ・プログラムの立案は個人で実施している ・案は個々が共有できている | 以後も継続してまいります。 |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|--------------------------------|---|--|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 9 | 0 | ・スタッフを固定しないことで様々な視点でのプログラムを行っていき ・個人的だがとても工夫して取り組んでいる | 以後も継続してまいります。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | 0 | 年齢に合わせて個別の活動を行っている | 以後も継続してまいります。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 9 | 0 | ・1日の配置を設定し共有している ・アプリ内で情報を共有し、変更がある際もすぐ共有できるようにしている ・ミーティングに時間をかけ個人の意見を聞いている ・プログラムは全員に公開し、全員で実施している | 以後も継続してまいります。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 9 | 0 | ・記録の記入 ・Slackでの全体周知 ・アプリ内で情報を共有し、改善点について周知している ・翌朝のミーティングで前日の振り返りをしている | 以後も継続してまいります。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | 0 | 活動の記録にプログラムの様子等を記録している | 以後も継続してまいります。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | モニタリングは半年間に一度実施している | 以後も継続してまいります。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 9 | 0 | ・就学前の準備、ライフスキルの獲得を目標にプログラムで様々な活動を実施している ・基本活動について年に1回共有している | 以後も継続してまいります。 |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 9 | 0 | ・場面に依りて子どもが決定する状況を設定し支援を実施している | 以後も継続してまいります。 | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 9 | 0 | ・担当者が参加している ・必ず子どもの状況を理解したものが参加している | 以後も積極的に参加してまいります。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 9 | 0 | ・個別支援計画書を共有している ・適宜連携をとっている | 今後、必要に応じて連携をはかってまいります。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 9 | 0 | ・学校との情報共有や、担当者会議を適宜行っている | 以後も積極的に参加してまいります。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 9 | 0 | ・幼稚園、保育園の送迎の際や、実際に訪問していただいている情報共有をしている。 ・園、保護者等からの要請により適宜実施している。 | 継続し情報共有を行い、相互理解に努めます |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 0 | 9 | | 開所3年目のため対象者はいませんが、今後適宜対応していきます |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | 3 | 必要に応じて実施している | 今後も継続して行ってまいります。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 9 | 0 | ・全ての利用者がいずれかの園、学校に在籍しているため教育の中では検討していない。 ・地域のイベントなどを案内している | 今後も継続して行ってまいります。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 9 | 0 | 子ども部会に参加している | 以降も積極的に参加して参ります |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 9 | 0 | 保護者様とのコミュニケーションを大切にしております。 | 今後も一層努めてまいります。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 9 | 0 | ・イベントで講習会を実施することあり ・発達小児科医の先生をお呼びして研修を行ったり、ご家族で楽しめるイベントを実施している。 ・送迎児やイベントでご家族と情報共有している | 感覚統合、体の発達、言葉の発達について研修を行っている。 ペアトレは次年度実施予定 |
| 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 9 | 0 | 丁寧な説明を心掛けている。 | 引き続き、努めてまいります。 | |
| 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | 0 | 対応に努めている。 | 引き続き、努めてまいります。 | |
| 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 9 | 0 | 保護者様にご理解いただき、同意をいただいております。 | 今後も一層丁寧な説明を心掛けていきます。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | 0 | 必要に応じて来所してもらったり、電話で対応できるよう努めている。 | 以後も一層お力になれるようスタッフ一同研鑽を積んでまいります。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 9 | 0 | イベントで保護者同士顔を合わせる機会、茶話会などを実施している | 以後も継続し、回数等に関しては引き続き検討して参ります。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 9 | 0 | 対応に努めている。 | 引き続き、お子様はもちろん少しでも保護者様のお力になれるよう努めます。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | 0 | 定期的に通信を発行している。 | 回数や内容に関しては検討を続け、よりよいものに出来るよう引き続き努めてまいります。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | 0 | 個人情報の取り扱いには十分に配慮している。 | 引き続き、お預かりしている個人情報は大切に扱わせていただきます。 |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | 0 | 個々に応じた対応に努めている。 | 以後も努めてまいります。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 9 | 0 | ・不定期ではあるが、地域の方々にも参加していただけるセミナー等を実施している。 ・地域住民の方との接点はあまりない | 引き続き、つながりを図っています。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 9 | 0 | マニュアルも適宜スタッフで見直し、訓練にあたる。 | 保護者様への周知は引き続き課題であると考えております。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 9 | 0 | 業務継続計画を策定し、年間を通じて各種避難訓練を実施している。 | 引き続き、お子様の大切な命を守るよう訓練を重ねてまいります。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 8 | 0 | ご利用前に必ず保護者様に必要事項の聞き取りを行っている。 | 引き続き、継続をしてまいります。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 9 | 0 | ・フェイスシートを保護者様に記載してもらい、アレルギー等の注意事項を把握している ・アレルギーがある利用児がわかるよう可視化して表示している | 引き続き、継続をしてまいります。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 9 | 0 | 定期的に避難訓練を実施し、その都度見直しを行っている。参加できなかった職員にもし共有している。 | 引き続き、継続をしてまいります。 |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 9 | 0 | | 引き続き、継続をしてまいります。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | ひやりはっと、事故報告書にて記録を取り、今後の対策を検討している | 引き続き、継続をしてまいります。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | 0 | 虐待防止、人権について等の研修を実施している | 引き続き、継続をしてまいります。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 8 | 0 | ・研修を行い、スタッフ間で周知すると共に保護者様に同意をいただいている。 ・その可能性がある事象があれば共有し、保護者様にもわかりやすく説明している | 引き続き、継続をしてまいります。 | |